



傳 如 人 形 立 止

特 別
A13
1668
4



御伽人形巻之六

一

小女よふ乳をれむ

こむらやふめと強道の傍
乳をよれむ

二

此法佛法の娘三夏の後悔

此法佛法の娘三夏の後悔
三夏の後悔
此法佛法の娘三夏の後悔
此法佛法の娘三夏の後悔

三

目前よふ乳をれむ



心もろきものころりなるを
ひざんのとく湯つがたし

四

竹の性根の食つられ糧

こん唐湯よりわらる靈天蓋
新くもあつちの海へ入るの

八

佛徳より降り者の徳者

ち母のあつらん又あやの美心
先ずれもも自害しるの

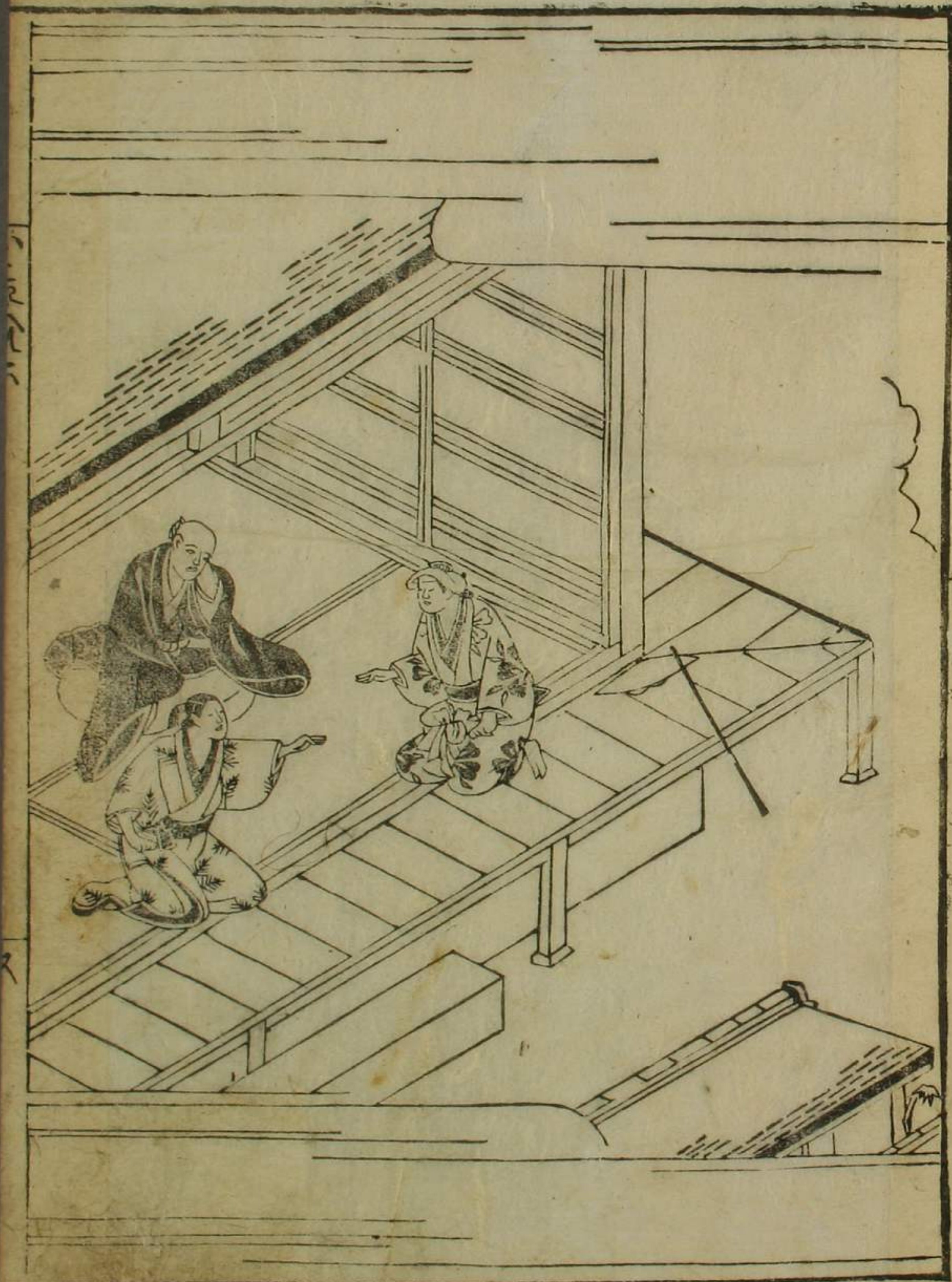
心

六の巻目録

御徳を記す
一 お山より又都らのこと

まろけりけり
志望のよしは遠道してともあふぬ
彩のあまはたぬ嵐ふあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち
あつちのあつちのあつち





Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of names. The text is written in a single column and includes various characters and symbols, possibly representing musical notes or specific names. The script is dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, similar to the right page. It appears to be a continuation of the same text or a separate entry. The script is consistent with the right page, suggesting a single author or a specific dialect. The text is written in a single column and includes various characters and symbols.

乃乃百様のありしよしとありぬる所を所せりもあは
とよしれちし物ににんしとよしとよしとては
場陣本座のわらわちあるなはなはむか
今よきそれなりわまといひたりき
屏不まといふうを中もよきまをく
とせむのなはむかといひたりき
くよきとてぬわたりとてなりき
して登壇のまといひたりき
しよきとてぬわたりとてなりき
さくやむかといひたりき

ある製の流るれ海頂もあはれそのあひのそ
とあわられぬのぬわたりとてなりき
ら目のものいふとてなりき
わきひたゆのいふとてなりき
とてなりき
つよあはれぬのぬわたりとてなりき
くよきとてぬわたりとてなりき
今よきそれなりわまといひたりき
屏不まといふうを中もよきまをく
とせむのなはむかといひたりき
くよきとてぬわたりとてなりき
して登壇のまといひたりき
しよきとてぬわたりとてなりき
さくやむかといひたりき

宿命もあひはれ海客もあひはれまはるんぬりし

④ 舟の住根の合つらりの體

舟のまゝにたはれらるの海は大地わつとわたりし合お
とせしゆめあつじりも晴天のそたれぬが座は何と
おれぬのひらりなりそわたりし舟はなれとあそびに
わる舟は若ともなれし舟は門はよりれどなりや
そ安らぬん海客の海は大地わつとわたりし舟はなれ
よ及ひぬる舟と遊ばぬ者なりし舟はなれし舟はなれ
とよりれどより舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟は
たりし舟の舟もゆりし舟はなれし舟はなれし舟はなれし

そくふわたりし舟とそくふわたりし舟はなれし舟は
舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
の舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
てそくふわたりし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟は
らりし舟とそくふわたりし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
る舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
そくふわたりし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ
舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれし舟はなれ

五月廿三日
 一 孝行
 一 忠行
 一 義行
 一 禮行
 一 廉行
 一 恥行
 一 信行
 一 節行
 一 勇行
 一 孝行
 一 忠行
 一 義行
 一 禮行
 一 廉行
 一 恥行
 一 信行
 一 節行
 一 勇行

嘉永二年

乙酉二月廿三日

東京幕府御用

林孫七郎

林孫七郎



